

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外国語		歯科衛生士学科/2年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西良 美智子

## 授業の概要

1. 基本的日常会話能力(リスニング、スピーキング)の養成
2. 歯科衛生士業務の際の英会話文を理解し習得させる
3. 基礎的な文中の文法を理解させる
4. 西洋諸国の多様な文化、風習、マナーの相違等への理解を深める
5. ペアによる英会話練習により実践力を向上させる
6. 歯科衛生士にとって興味深い読み物を英語で読んでみる

## 授業終了時の到達目標

1. 英語を話すことに対する抵抗感をなくする
2. 基本会話文を習得するとともに外国への関心を高め、理解を深める
3. 歯科衛生士業務に必要な基礎英語力を習得する

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有

小学校、高等学校、予備校で英語講師経験あり。

## 時間外に必要な学修

テキストの予習、復習。学習した単語を覚える。テキストの音読練習。

回	テーマ	内容
1	基本の英会話1 歯科英語テキスト1 Making an appointment by telephone	プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での歯科医院における電話予約の学習、練習。
2	基本の英会話2 歯科英語テキスト2 Request for medicine	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って、英語での薬のリクエストについて学習、練習。
3	基本の英会話3 歯科英語テキスト3 Emergency appointment	回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って、英語での緊急予約について学習、練習。
4	基本の英会話4 歯科英語テキスト4 National health insurance	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での国民健康保険についての説明、練習。
5	基本の英会話5 歯科英語テキスト5 Asking Patient to describe symptoms	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語で患者さんに症状を聞く学習、練習。
6	基本の英会話6 歯科英語テキスト6 Asking the medical history	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での患者さんに対してメディカルヒストリーの聞き方について学習、練習。
7	基本の英会話7 歯科英語テキスト7 Periodontal disease	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での歯周病について学習、練習。
8	基本の英会話8 歯科英語テキスト8 Pregnancy	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での妊娠中の歯科治療および口腔衛生について学習、練習。

回	テーマ	内容		
9	基本の英会話9 歯科英語テキスト9 Do I need a cleaning?	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での定期的な歯科医院でのクリーニングの重要性の説明の学習、練習。		
10	基本の英会話10 歯科英語テキスト10 Informed consent	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語でのインフォームドコンセントの学習、練習。科学的英語の読み物。		
11	基本の英会話11 歯科英語テキスト11 Sealant	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語でのシーラントの説明の学習、練習。科学的英語の読み物。		
12	基本の英会話12 歯科英語テキスト12 Fluoride treatment	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語でのフッ素トリートメントの説明について学習、練習。		
13	基本の英会話13 歯科英語テキスト13 Tooth brushing instructions for a child	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での子どもに対する歯みがき指導について学習、練習。		
14	基本の英会話14 歯科英語テキスト14 Tooth brushing instructions for an adult	前回の内容の小テスト。プリントを用いた基本の英会話学習。テキストに沿って英語での大人に対する歯磨き指導、治療終了後の説明について学習、練習。		
15	学年末テスト	学年末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新歯科衛生士教本 歯科英語 医歯薬出版株式会社		出席率 期末試験	30.0% 70.0%	レポート提出で成績に加味することもあり。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生物学		歯科衛生士学科/2年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	大南 朋子

## 授業の概要

歯科学は生命科学の重要な一員であるため、生物学は歯科衛生士を志す者には重要な教養科目となる。一般教養としての生物学を学ぶとともに、国家試験の生理学分野の内容も含めていく。

## 授業終了時の到達目標

一般教養としての生物学について基礎知識が身につく。  
国家試験科目の生理学の内容と重なっている部分を解けるようになる。

## 実務経験有無

## 実務経験内容

## 時間外に必要な学修

・主体的に授業に参加し学習する。

## 【準備学習】

回	テーマ	内容
1	生物学の授業進行について 学生の自己紹介 I-1章 生命とは何か	1年間で学ぶことについて 生命をつくっている物質について
2	I-2章 生命の誕生 I-3章 生命の変換	どのようにして生物は生まれたか 生物の進化について
3	II-1章 生物は細胞からできている	細胞小器官とその活動
4	II-2章 細胞の一生と個体の成り立ち	細胞と組織・器官
5	III-1章 生殖によって子孫をつくる III-2章 遺伝と遺伝子	生殖と減数分裂 遺伝の法則とDNA
6	III-2章 遺伝と遺伝子 III-3章 発生して体をつくる	遺伝の法則とDNA 発生の過程と仕組み

回	テーマ	内 容		
7	IV-1章 刺激の受容と反応	神経と刺激の伝達		
	IV-2章 内部環境を保つ仕組み	体液・ホルモン・自律神経		
8	IV-3章 動物の行動	本能と習得的行動		
	まとめ	学んできたことの総まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新歯科衛生士教本 生物学 オリジナルプリント		期末試験	100.0%	・主体的に授業に参加し学習する。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
心理学		歯科衛生士学科/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	渡部 幸奈
授業の概要				
<p>本科目は心理学の概論授業として、基本的な概念や理論を学ぶことを目的とする。日常生活の中で経験される行動と心理学の基礎知識を関連づけながら、人間の行動を形成している諸側面について概説する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>心理学における基本的な知識を習得すること。 自己及び他者の心や行動を心理学的知見に基づいて理解し、説明することができる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	受講ガイダンス/心理学とは	授業の進め方について説明する/心理学の歴史・領域・対象・研究法について学ぶ		
2	その人らしさの心理学	パーソナリティの理論と測定法について学ぶ		
3	ものの見え方と記憶の仕組み	知覚情報の処理システムと記憶の構造について学ぶ		
4	個人と環境	立場や環境が人の心理や行動に与える影響について学ぶ		
5	学習と行動	学習理論と、その応用としての行動変容について学ぶ		
6	ストレスとコーピング	ストレスの仕組みと対処法について学ぶ		
7	印象形成とコミュニケーション	印象形成の過程と良いコミュニケーションのポイントについて学ぶ		
8	まとめと期末試験	これまでの振り返りと期末試験を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーポイント 配布資料		期末試験	100.0%	グループワークを取り入れています。授業への積極的な参加態度を評価しますので、意欲的に取り組んでください。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生行政・社会福祉		歯科衛生士学科/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	近藤 ちづる
授業の概要				
衛生行政の仕組みや保健医療、福祉関係法規を理解する。 福祉関係の法規について理解し、社会福祉や社会保険制度における医療保障の諸対策を理解する。				
授業終了時の到達目標				
衛生行政の体制および衛生関係法規について理解する。 社会保障の成り立ちを学び、社会保険と社会福祉の詳細を理解する。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テーマ	内容		
1	医療法	わが国の医療制度		
2	医療法	歯科医師法 歯科衛生士法		
3	医療関係職種	看護師・保健師・助産師・臨床検査技師 診療放射線技師・言語聴覚士・薬剤師		
4	関係法規	地域に関する法律		
5	関係法規	歯科口腔保健法・薬事に関連する法規・衛生に関する法規		
6	社会保障	医療保険・介護保険・年金保険・社会福祉		
7	医療の動向	国民の健康状態 国民医療費		
8	まとめ、テスト	まとめ 前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科予防処置論Ⅱ		歯科衛生士学科/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	井口 和美
授業の概要				
歯周病、う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康管理ができるように、専門的器具の取り扱い・知識・技術を習得する。				
授業終了時の到達目標				
1) 超音波・エアスケーラーについての基礎知識、技術を身につける 2) キュレットタイプスケーラーの基礎知識、適切な操作方法を身につける 3) 器具管理のために、シャープニング技術を習得する 4) 小窩裂溝填塞(フィッシャーシーラント)についての術式を理解する 5) 歯面研磨についての知識・操作技術を身につける 6) 付着歯肉幅の特徴と測定方法について説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	歯面清掃用器具・器材	1) 超音波と音波とは 2) エアフローとは 2) 超音波スケーラー・エアスケーラーの種類と機能		
2	超音波スケーラーの基本操作 * ファントム	1) インサートチップの当て方 操作角度 2) 持ち方と固定点 3) 操作幅、動かし方		
3	超音波スケーラーの基本操作 * ファントム	1) ファントムの高さ・マキシラアングル 2) ミラー操作 3) ポジション		
4~ 5	超音波スケーラー (下顎) *相互実習	1) 赤染め後、沈着部の除去 2) 患者への配慮 3) バキューム操作		
6~ 7	超音波スケーラー (上顎) *相互実習	1) 赤染め後、沈着部の除去 2) 患者への配慮 3) バキューム操作		
8	歯面研磨 基礎	1) 歯面研磨 PTC PMTCとは 2) 歯面研磨 目的・手順・使用器具 研磨剤		
9~ 10	歯面研磨 操作 *ファントム	1) 歯面への当て方 操作角度 2) 把持法 固定点		

回	テーマ	内 容
11～ 12	歯面研磨 (相互実習)	1) 操作手順 2) 歯面研磨剤の留意点
13～ 14	手用スケーラーの基礎知識	1) 種類、使用部位、操作方法の違いを理解する 2) キュレットスケーラーの構造と名称
15～ 16	キュレットスケーラー操作 グレーシータイプ *ファントム	3 3番歯～4 3番歯 (唇側・舌側) 1) ポジショニング 2) 操作角度・操作幅・圧
17～ 18	キュレットスケーラー操作 グレーシータイプ *ファントム	1 3番歯～2 3番歯 (唇側・口蓋側) 1) ポジショニング 2) 操作角度・操作幅・圧
19	キュレットスケーラー操作 グレーシータイプ *ファントム	4 4番歯～4 7番歯 (頬側・舌側) 1) ポジショニング 2) 操作角度・操作幅・圧
20	キュレットスケーラー操作 グレーシータイプ *ファントム	3 4番歯～3 7番歯 (頬側・舌側) 1) ポジショニング 2) 操作角度・操作幅・圧
21	キュレットスケーラー操作 グレーシータイプ *ファントム	1 4番歯～1 7番歯 (頬側・口蓋側) 1) ポジショニング 2) 操作角度・操作幅・圧
22	キュレットスケーラー操作 グレーシータイプ *ファントム	2 4番歯～2 7番歯 (頬側・口蓋側) 1) ポジショニング 2) 操作角度・操作幅・圧
23～ 24	キュレットスケーラー 試験 (上 顎) グレーシータイプ *ファントム	1) スケーラー番号 2) ポジション 3) マキシラ 4) 固定 5) 側方圧 6) 操作幅・角度
25～ 26	キュレットスケーラー 試験 (下 顎) グレーシータイプ *ファントム	1) スケーラー番号 2) ポジション 3) マキシラ 4) 固定 5) 側方圧 6) 操作幅・角度
27～ 28	シャープニング	1) 意義と目的 2) 使用器材 3) 砥石の種類 4) 潤滑剤 (オイル)
29～ 30	シャープニング (実習)	1) 操作方法 2) グレーシー #5・6 #7・8
31～ 32	シャープニング (実習)	1) 操作方法 2) グレーシー #11・12 #13・14
33～ 34	シャープニング (実技試験)	1) シャープニング角度 2) 把持法 3) ストローク幅
35～ 36	偶発事故	偶発事故の予防と対策 バイタルサイン 患者が起こしやすい事故 術者が起こりやすい事故



回	テ ー マ	内 容		
37	付着歯肉幅測定	付着歯肉の幅の特徴 測定部位と方法		
38	付着歯肉幅測定実習	薬液の取り扱い 塗布・測定と記録 算出法		
39	う蝕予防処置（小窩裂溝填塞） *模型実習	1) 手順 防湿方法（簡易・ラバーダム防湿） 2) 模型の小窩裂溝填塞法		
40～ 41	総合相互実習	1) フロビング 2) グレーシー操作実習		
42～ 43	総合相互実習	1) 超音波スケーラー操作実習		
44	総合相互実習	1) 歯面研磨		
45	まとめと期末試験	まとめと確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論		出席率 期末試験 確認テスト	10.0% 60.0% 30.0%	【準備学習】 相互実習・シャープニング実習前には、基本操作については、基本操作について復習し理解をしておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科保健指導論Ⅱ		歯科衛生士学科/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	島本 幸代
授業の概要				
1年次での基礎学習を踏まえ、対象の把握法・会話法・伝達法の基本を理解し、歯科保健指導で使用する各種媒体の作成要領や活用法を学び、それぞれのライフステージにあった歯科保健指導を体感することにより、歯科衛生士としての役割や職業に対する責任や使命感を認識してもらう。				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージ別の対象者の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。</li> <li>各ライフステージ別の口腔衛生指導ができる。</li> <li>各ライフステージ別の食生活指導ができる。</li> </ol>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを予習する。				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	2年次で学ぶ歯科保健指導の概要について		
2~10	幼児対象集団歯科保健指導準備	<ol style="list-style-type: none"> <li>集団歯科保健指導案の作成</li> <li>媒体物の作成</li> <li>発表練習</li> <li>発表</li> </ol>		
11	ライフステージに対応した歯科衛生介入	妊産婦期 <ol style="list-style-type: none"> <li>妊産婦期の一般的特徴</li> <li>妊産婦の口腔の特徴</li> <li>妊産婦の歯科衛生介入</li> <li>妊産婦の栄養</li> <li>妊娠期と授乳期の食事摂取基準</li> <li>妊娠期と授乳期の食生活指導</li> </ol>		
12	ライフステージに対応した歯科衛生介入	乳児期 <ol style="list-style-type: none"> <li>乳児期の一般的特徴</li> <li>乳児期の口腔の特徴</li> <li>乳児期の歯科衛生介入</li> <li>乳児期の栄養</li> <li>乳児期の栄養摂取</li> <li>乳児期の食事摂取基準</li> <li>乳児期の食生活指導</li> </ol>		

回	テーマ	内容
13～ 15	臨地(保育)実習準備	臨地(保育)実習準備
16	ライフステージに対応した歯科衛生介入	<p>幼児期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児期の一般的特徴</li> <li>2. 幼児期の口腔の特徴</li> <li>3. 幼児期の歯科衛生介入</li> <li>4. 幼児期の食生活の特徴と栄養</li> <li>5. 間食</li> <li>6. 幼児期の食事摂取基準</li> <li>7. 幼児期の食生活指導</li> </ol>
17	ライフステージに対応した歯科衛生介入	<p>学齢期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学齢期の一般的特徴</li> <li>2. 学齢期の口腔の特徴</li> <li>3. 学齢期の歯科衛生介入</li> <li>4. 学齢期の食生活の特徴と栄養</li> <li>5. 学齢期における食育の重要性</li> <li>6. 学齢期の食事摂取基準</li> <li>7. 学齢期の食生活指導</li> </ol>
18	ライフステージに対応した歯科衛生介入	<p>青年期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 青年期の一般的特徴</li> <li>2. 青年期の口腔の特徴</li> <li>3. 青年期の歯科衛生介入</li> <li>4. 青年期の食生活の特徴と栄養</li> <li>5. 青年期の食事摂取基準</li> <li>6. 青年期の食生活指導</li> </ol>
19	ライフステージに対応した歯科衛生介入	<p>成人期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人期の一般的特徴</li> <li>2. 成人期の口腔の特徴</li> <li>3. 成人期の歯科衛生介入</li> <li>4. 成人期の食生活の特徴と栄養</li> <li>5. 成人期の食事摂取基準</li> <li>6. 成人期の食生活と指導</li> <li>7. 生活習慣病予防と栄養指導</li> </ol>
20～ 21	ライフステージに対応した歯科衛生介入	<p>老年期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期の一般的特徴</li> <li>2. 老年期の口腔の特徴</li> <li>3. 老年期の歯科衛生介入</li> <li>4. 老年期の食生活の特徴と栄養</li> <li>5. 高齢者の低栄養の要因</li> <li>6. 老年期の食事摂取基準</li> <li>7. 老年期の食生活指導</li> <li>8. 摂食嚥下障害と栄養</li> </ol>
22	配慮を要する者への歯科衛生介入	<p>要介護高齢者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 要介護高齢者の一般的特徴</li> <li>2. 要介護高齢者の口腔の特徴</li> <li>3. 要介護高齢者の歯科保健指導</li> <li>4. 要介護高齢者の食生活の特徴と栄養</li> <li>5. 要介護高齢者の食生活指導</li> </ol>

回	テーマ	内 容
23	配慮を要する者への歯科衛生介入	要介護高齢者 1. 要介護高齢者の一般的特徴 2. 要介護高齢者の口腔の特徴 3. 要介護高齢者の歯科保健指導 4. 要介護高齢者の食生活の特徴と栄養 5. 要介護高齢者の食生活指導
24	前期確認テスト・まとめ	前期確認テスト・まとめ
25	配慮を要する者への歯科衛生介入	障害児者 1. 障害児者への一般的特徴 2. 障害児者の口腔の特徴 3. 障害児者の歯科衛生介入 4. 障害児者の食生活の特徴と栄養
26	配慮を要する者への歯科衛生介入	大規模災害被災者 1. 災害と避難施設 2. 災害時の歯科保健医療 3. 歯科保健医療のためのアセスメントと支援活動 4. 災害時の多職種連携について
27～ 29	配慮を要する者への歯科衛生介入	災害時の歯科保健支援演習
30	配慮を要する者への歯科衛生介入 相互実習	スポンジブラシの使い方(講義&実習)
31	喫煙者に対する指導 ストレスマネジメント	喫煙者に対する指導 ストレスマネジメント 1. スレッサー 2. 認知的評価・対処能力 3. ストレス反応に対する対処
32	口腔機能管理に関わる指導 生活習慣の指導	1. 口腔機能の発達に関連する指導 2. 口腔機能の低下に関連する指導 3. 非感染性疾患 (NCDs)

回	テーマ	内 容		
33～ 36	臨地(介護)実習準備	1. 摂食嚥下過程について 2. 嚥下障害における問題点 3. 誤嚥性肺炎について 4. 高齢者における食事 5. 口腔体操プログラム 6. 口腔衛生管理		
37	地域歯科保健活動における健康教育	1. 健康教育の概要 2. 健康教育の進め方 3. 健康教育の方法 4. 健康教育の評価		
38	地域歯科保健活動のフィールド	1. 保育所(園)・幼稚園 2. 学校(小学校・中学校・高等学校) 3. 事業所 4. 保健所・市町村保健センター 5. 地域・病院・施設		
39	地域歯科保健活動のフィールド	1. 保育所(園)・幼稚園 2. 学校(小学校・中学校・高等学校) 3. 事業所 4. 保健所・市町村保健センター 5. 地域・病院・施設		
40～ 42	3年次：活動の場の見学準備	1. 保健センター 2. 発達障害児施設 3. 病院・介護施設		
43	2年次：総まとめ	まとめ・復習		
44	確認テスト	確認テスト		
45	確認テスト問題解説	確認テスト問題解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論【医歯薬出版株式会社】		出席率 期末試験	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科診療補助論Ⅱ		歯科衛生士学科/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	四宮 直子
授業の概要				
臨床歯科医学に相当するさまざまな治療に対するアシスタントワークを学ぶ。 円滑なチーム医療を実現するための診療の補助について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ラバーダム防湿の目的と器具の用途について説明できる。</li> <li>2. ラバーダム防湿を実施できる。</li> <li>3. 歯肉圧排法と手順について説明できる。</li> <li>4. 仮封材や仮着材の特徴、種類、用途を説明できる。</li> <li>5. 仮封材や仮着材の練和と余剰セメントの除去を実施できる。</li> <li>6. ワックスの特徴、種類、用途を説明できる。</li> <li>7. 歯間分離法と目的について説明できる。</li> <li>8. 隔壁法と手順を説明できる。</li> <li>9. 暫間被覆冠の目的と作製の手順を説明できる。</li> <li>10. 暫間被覆冠を作製できる。</li> <li>11. 各治療の特徴を説明できる。</li> <li>12. 各治療の手順に沿った器材を準備することができる。</li> </ol>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		歯科衛生士として14年の実務経験 これまでの臨床におけるさまざまな治療に対するアシスタントワークやチーム医療の場 を教材として、診療の補助の知識と技術を指導する。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テーマ	内容		
1	臨床実習前の確認	治療の流れと診療の補助		
2	臨床実習前の確認	印象採得 セメント練和等		
3	ワックス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎知識</li> <li>2. ワックスの種類と用途</li> </ol>		
4	歯間分離	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯間分離の目的</li> <li>2. 欠点</li> <li>3. 器具の名称と用途</li> <li>4. 手順</li> </ol>		
5~ 6	隔壁法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎知識</li> <li>2. 種類</li> <li>3. 手順</li> <li>4. タッフルマイヤー型リテーナーによる隔壁法実習</li> </ol>		
7	歯肉圧排	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎知識</li> <li>2. 歯肉圧排(排除)用薬剤の種類</li> <li>3. 歯肉圧排糸による歯肉圧排の手順</li> <li>4. その他の歯肉圧排用材料</li> </ol>		

回	テーマ	内容
8～10	仮封・仮着の補助	1. 基礎知識 2. 仮封材・仮着材の種類 3. セメント系の取り扱い 4. 水硬性仮封材の取り扱い 5. 仮封用軟質レジンの取り扱い 6. テンポラリーストッピングの取り扱い 7. サンダラックバーニッシュの取り扱い
11～12	ラバーダム防湿	1. 目的 2. 利点・欠点 3. 器具の名称と用途 4. 手順 5. 臨床におけるケース
13	暫間被覆冠	1. 目的 2. 準備物 3. 手順 4. 患者指導
14～15	暫間被覆冠	既製レジン冠を使用する方法
16～18	暫間被覆冠	直接法（即時重合レジン圧接法）
19	共同動作実習	1. 術者・補助者・患者のポジショニング 2. ライティング 3. フォーハンデッドデンティストリー 4. 器具の受け渡し 5. バキュームテクニック 6. スリーウェイシリンジテクニック
20～21	実技相互実習	印象採得・咬合採得・石膏
22～23	実技（前期振り返り） 実技テスト	ラバーダム防湿 隔壁法 暫間被覆冠
24	確認テスト	確認テスト
25～26	保存修復時の診療補助	1. 保存修復治療と診療補助の特徴 2. 保存修復治療の例と診療補助の流れ 1) 直接修復 2) 間接修復 3) 漂白法
27	印象採得・咬合採得	寒天印象採得の補助 咬合採得（ワックス）

回	テーマ	内容
28～ 29	歯内療法時の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯内療法と診療補助の特徴</li> <li>2. 歯内療法の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄処置（麻酔抜髄法）</li> <li>2) 根管処置（根管充?）</li> </ol> </li> </ol>
30～ 31	歯周外科治療の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯周外科治療と診療補助の特徴</li> <li>2. 歯周外科治療の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周外科治療時の業務</li> <li>2) フラップ手術</li> </ol> </li> </ol>
32～ 35	補綴治療時の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 補綴治療の例と診療補助の特徴</li> <li>2. 補綴治療の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 遊離端部分床義歯</li> <li>2) クラウン・ブリッジ</li> <li>3) インプラント</li> </ol> </li> </ol>
36～ 37	口腔外科治療時の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔外科治療と診療補助の特徴</li> <li>2. 口腔外科治療の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抜歯時の業務</li> <li>2) 普通抜歯</li> <li>3) 難抜歯</li> </ol> </li> </ol>
38	歯科麻酔時の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科麻酔時の診療補助の特徴</li> <li>2. 局所麻酔の基礎的知識 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疼痛・反射の抑制法</li> <li>2) 局所麻酔薬の種類</li> <li>3) 局所麻酔の適応と使用方法</li> <li>4) 使用時の注意事項</li> </ol> </li> <li>3. 局所麻酔の例と診療補助の流れ</li> <li>4. 吸入鎮静・静脈内鎮静の例と診療補助の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神鎮静法の概要</li> <li>2) 吸入鎮静の例</li> <li>3) 静脈内鎮静の例</li> </ol> </li> <li>5. 全身麻酔での診療補助の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全身麻酔の概要</li> <li>2) 全身麻酔の流れ</li> </ol> </li> </ol>
39～ 42	矯正治療時の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 矯正治療と診療補助の特徴 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 矯正治療に関する患者指導</li> <li>2) 口腔筋機能療法（MFT）の診療補助</li> </ol> </li> <li>2. 矯正治療の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 矯正装置の装着</li> <li>2) 矯正装置の撤去</li> </ol> </li> </ol>
43～ 44	小児歯科治療時の診療補助	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児の診療と診療補助の特徴 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 診療時の配慮</li> <li>2) 診療時のポジションとフォーハンドシステム</li> <li>3) 小児の対応法</li> <li>4) 局所麻酔</li> <li>5) ラバーダム防湿</li> <li>6) エックス線検査</li> </ol> </li> <li>2. 小児の治療の例と診療補助の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保存修復</li> <li>2) 外傷</li> </ol> </li> </ol>



回	テーマ	内容		
45	確認テスト	各治療時の診療補助		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論（医 歯薬出版） 歯科衛生学シリーズ 歯科材料（医歯薬出 版） 歯科衛生学シリーズ 歯科機器（医歯薬出 版）		出席率 実習・実技評価 期末試験	5.0% 25.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
医療事務(歯科)		歯科衛生士学科/2年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	勇 幸代

## 授業の概要

1	保険制度の概要	保険の概念・医療保険制度・長寿医療制度の概要・診療報酬・保険者番号と被保険者証の概要
2	受付から請求まで	診療前後の作業、請求事務、レセプトの審査・支払い
3	公費負担医療制度	生活保護法
4	点数算定の基本	基本診療料(初診料・再診料) 特掲診療料(医学管理・在宅医療・投薬・検査・画像診断・処置および手術・麻酔)
5	歯冠修復	歯冠修復の方法・手順・算定の原則 歯冠修復の種類と算定方法
6	傷病による治療と算定	硬組織疾患(う蝕症・象牙質知覚過敏症・その他) 歯髄疾患(歯髄炎) 歯周組織疾患(歯根膜炎) 軟組織疾患(口内炎・口角びらん・褥創性潰瘍) 歯周疾患(歯肉炎・歯周炎) その他(ドライソケット・歯肉膿瘍・歯槽膿瘍・智歯周囲炎・歯槽骨鋭縁・小帯異常)
7	欠損補綴	ブリッジ・有床義歯
8	修理、再装着、未来院請求 ・未来院請求	床適合・歯冠修復物およびブリッジの脱落・再装着・修理

## 授業終了時の到達目標

- 1) 保険制度の理解
- 2) 受付業務
- 3) 点数採点の基本の理解
- 4) 特掲診療の理解
- 5) 算定実技の理解

実務経験有無	実務経験内容

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	保険の概念	1 保険料とは 2 保険者証 3 診療報酬とは 4 被保険者
2	保険制度の概要	長寿医療制度の概要 診療報酬
3	保険者番号と被保険者証の記号	・医療保険 ・国民健康保険 ・長寿保険
4	受付業務	診療前の作業 カルテ作成 診療後の業務

回	テーマ	内 容		
5	実技問題	練習問題No. 1 ①即日充填形成とは ②X線写真 ③アマルガム充填		
6	点数算定の基本 実技問題	基本診療料と特掲診療料 基本診療料 特掲診療料 在宅医療		
7	練習問題 吸入鎮静法	No3 実技問題 ①生切とは ②失切とは ③生PZ		
8	練習問題 確認テスト	実技問題No4 クラウン・ブリッジ維持管理料の届出を出していない医療機関の場合		
9	確認テストの解答・解説 レセプト作成	学科・実技 ・レセプト作成 ・生年月日 ・保険者番号		
10	実技問題	実技問題No 2 4 ~No 2 7 解答解説		
11	実技問題	実技問題No 2 8 ~No 3 0 解答解説		
12	実技問題	実技問題No 3 1 ~No 3 3 解答解説		
13	実技問題	実技問題 解答解説		
14	実技問題	実技問題 解答解説		
15	医療事務技能認定試験（歯科）	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事務講座（歯科）</li> <li>テキスト1、2、3</li> <li>資料ブック 理解度チェック問題</li> <li>ソラスト</li> <li>・歯科試験問題集（学科・実技）</li> <li>解答と解説 ソラスト”</li> </ul>		出席率 課題・レポート 期末試験	10.0% 20.0% 70.0%	<b>【準備学習】</b> 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パソコン実習 (Excel)		歯科衛生士学科/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位 (46時間)	必須	四宮 直子
授業の概要				
Excelの基本機能や操作方法を学習する。 MOS Excelの資格取得を目指す。 パソコンの活用能力を高める。				
授業終了時の到達目標				
Excelによる表やグラフの作成、基本的な関数の利用、簡単なデータ処理ができる。 MOS Excel2019の資格を取得する。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
授業の復習をするとともにテキストを用いて繰り返し練習問題を解く。 次回の授業内容を踏まえて、予習を行う。				
回	テーマ	内容		
1~2	出題範囲1 ワークシートやブックの管理	1. ブックにデータをインポートする 2. ブック内を移動する 3. ワークシートやブックの書式を設定する 4. オプションと表示をカスタマイズする 5. 共同作業のためにコンテンツを設定する		
3~4	出題範囲2 セルやセル範囲のデータの管理	1. シートのデータを操作する 2. セルやセル範囲の書式を設定する 3. 名前付き範囲を定義する、参照する 4. データを視覚的にまとめる		
5	出題範囲3 テーブルとテーブルのデータの管理	1. テーブルを作成する、書式設定する 2. テーブルを変更する 3. テーブルのデータをフィルターする、並べ替える		
6~7	出題範囲4 数式や関数を使用した演算の実行	1. 参照を追加する 2. データを計算する、加工する 3. 文字列を変更する、書式設定する		
8	確認テスト	確認テスト (出題範囲 1~4)		

回	テ ー マ	内 容		
9～ 10	出題範囲5 グラフの管理	1. グラフを作成する 2. グラフを変更する 3. グラフを書式設定する		
11～ 12	模擬試験問題1	模擬試験問題1		
13～ 14	模擬試験問題2	模擬試験問題2		
15～ 16	模擬試験問題3	模擬試験問題3		
17～ 18	模擬試験問題4	模擬試験問題4		
19～ 20	模擬試験問題5	模擬試験問題5		
21～ 22	模擬試験問題（ランダム）	模擬試験問題（ランダム）		
23	確認試験	模擬試験問題（ランダム）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集（FOM出版）		出席率 実習・実技評価 期末試験	5.0% 25.0% 70.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえて、テキスト等を用いて予習を行う